

5. 授業科目表

〔法学部 ビジネス法学科〕

科目群	区分	科目	授業形態	単位数		開講学年				卒業に必要な単位数		
				必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	各教科区分ごとの最低単位数	卒業要件	
共通科目群	情報	情報リテラシー	演	2		◎				2単位修得	共通科目群 30単位以上修得	
		情報 (Word)	演		2	○						
		情報 (Excel)	演		2		○					
		情報 (Power Point)	演		2		○					
		ビジネス情報処理 I	演		2			○				
	ビジネス情報処理 II	演		2			○		2単位以上修得			
	基礎英語 I	演	2		◎							
	基礎英語 II	演	2		◎							
	スキルアップ英語 I	演	2				◎					
	スキルアップ英語 II	演	2				◎					
	語学	英語コミュニケーション	演		2		○			8単位修得		
		トピック対策英語 I	演		2		○					
		トピック対策英語 II	演		2		○					
		英語ライティング	演		2		○					
		英語リーディング	演		2		○					
		中国語入門	演		2		○					
		中国語初級	演		2		○					
		中国語中級	演		2			○				
		コリア語入門	演		2		○					
		ポルトガル語入門	演		2		○					
	学	ベトナム語入門	演		2		○			2単位以上修得		
		スペイン語入門	演		2		○					
		健康スポーツ	講		2		○					
		健康スポーツ	実		1		○					
		健康スポーツ	実		1		○					
		文化と社会	多様な言語の世界	講		2			○			
			文学と現代	講		2			○			
			アジアの中の思想	講		2			○			
			アートと現代社会	講		2			○			
			犬山学入門	講		2			○			
地理学 I (地誌を含む。)	講			2			○					
地理学 II	講			2			○					
心の科学 I	講			2			○					
心の科学 II	講			2			○					
日本の文化と社会	講			2			○					
社会	地域創生と文化遺産	講		2			○					
	ジェンダーと現代社会	講		2			○					
	人間社会と文化形成	講		2			○					

【授業形態】 講…講義, 演…演習, 実…実験・実習・実技

科目群	区分	科目	授業形態	単位数		開講学年				卒業に必要な単位数		
				必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	各教科区分ごとの最低単位数	卒業要件	
共通科目群	社会と歴史	政治の世界	講		2			○			共通科目群 30単位以上修得	
		歴史との対話	講		2			○				
		情報と社会行動の科学	講		2			○				
		日本史	講		2			○				
		西洋史	講		2			○				
		アジア史	講		2			○				
		世界の中のアジア	講		2			○				
	科学と自然	交通と社会	講		2			○				
		生活と数学	講		2			○				
		生活の中の科学	講		2			○				
		生命の科学	講		2			○				
		統計学入門	講		2			○				
		文理ハイブリッド	科学と人間社会Ⅰ	講		2			○			
			科学と人間社会Ⅱ	講		2			○			
			科学と人間社会Ⅲ	講		2			○			
			環境共生の探究Ⅰ	講		2			○			
			環境共生の探究Ⅱ	講		2			○			
	生命と倫理		講		2			○				
	ゼミナール	全学ゼミナール	演		2			○				
		体験型プロジェクト	演		4		○					
	キャリア	基礎力養成Ⅰ	講		2	○						
		基礎力養成Ⅱ	講		2	○						
		公務員・就職試験基礎力養成Ⅰ	講		2		○					
		公務員・就職試験基礎力養成Ⅱ	講		2		○					
		公務員・就職試験基礎力養成Ⅲ	講		2		○					
		公務員・就職試験基礎力養成Ⅳ	講		2		○					
		公務員・就職試験対策Ⅰ	講		2			○				
		公務員・就職試験対策Ⅱ	講		2			○				
	特殊科目	特殊共通講義Ⅰ	講		[1]	○						
		特殊共通講義Ⅱ	講		[2]	○						
特殊共通講義Ⅲ		講		[4]	○							
留学認定科目	海外研修Ⅰ			2	海外短期研修							
	海外研修Ⅱ			2	海外短期研修							
	外国事情Ⅰ			2	協定大学との交換留学 海外大学への私費留学							
	外国事情Ⅱ			2								
	外国事情Ⅲ			2								
	外国事情Ⅳ			2								
合計				10	134							

【授業形態】 講・・・講義、演・・・演習、実・・・実験・実習・実技

単位数欄が [ ] の特殊科目は、講義題目・担当教員が異なるものであれば、複数個の履修が可能な科目である。

科目群	区分	科目	授業形態	単位数		開講学年				卒業に必要な単位数		
				必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	各教科区分ごとの最低単位数	卒業要件	
共通科目群	留学生対象科目	(留)日本語特別支援 A	演		2		○			留学生 選択必修 4単位以上 修得	共通科目群 30単位以上	
		(留)日本語特別支援 B	演		2		○					
		(留)アカデミック日本語レベル1	演		2		○					
		(留)アカデミック日本語レベル2	演		2		○					
		(留)アカデミック日本語レベル3	演		2		○					
		(留)アカデミック日本語レベル4	演		2		○					
		(留)アカデミック日本語レベル5	演		2		○					
		(留)アカデミック日本語レベル6	演		2		○					
		(留)日本語コミュニケーションレベル1	演		2		○					
		(留)日本語コミュニケーションレベル2	演		2		○					
		(留)日本語コミュニケーションレベル3	演		2		○					
		(留)日本語コミュニケーションレベル4	演		2		○					
		(留)日本語コミュニケーションレベル5	演		2		○					
		(留)日本語コミュニケーションレベル6	演		2		○					
		(留)日本事情 I	講		2	○						
		(留)日本事情 II	講		2	○						
(留)日本事情 III	講		2	○								
(留)日本事情 IV	講		2	○								
(留)日本事情 V	講		2	○								
合計				0	38							

留学生の取扱いについて

- ① 共通科目群「英語科目必修8単位修得」および「英語以外の外国語2単位以上修得」に共通科目群/留学生対象科目（「日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は除く）で修得した単位を読み替えることができる。
- ② 母語を履修することはできない。

留学生対象科目（共通科目群）の最低単位数について

留学生は「アカデミック日本語レベル1～6」から4単位以上および「日本語コミュニケーションレベル1～6」から4単位以上修得しなければならない。

科目群	区分	科目	授業形態	単位数		開講学年				卒業に必要な単位数	
				必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	各教科区分ごとの最低単位数	卒業要件
専門	基礎 I	市民生活と経済	講	2		○				8単位修得	専門 科目 群 66 単 位 以 上
		市民生活とビジネス	講	2		○					
		市民生活と法	講	2		○					
		市民生活とキャリア形成	講	2		○					
	専門 共通 基礎 II	国家と法(日本国憲法)	講	2		○				10単位修得	
		犯罪と法	講	2		○					
		企業と法	講	2			○				
		裁判と法	講	2			○				
		国際社会と法	講	2			○			8単位以上修得	
		戦後日本経済の動き	講		2		○				
		地域経済と産業	講		2		○				
		国民経済と政府	講		2		○				
市場の経済学	講		2		○						
情報技術の経営学	講		2		○						
人と組織の経営学	講		2		○						
会計と資金の経営学	講		2		○						
商品と流通の経営学	講		2		○						
科目 目 群	基礎法	法哲学	講	2				○	66 単 位 以 上		
		情報と法	講	2				○			
	専 門 法 民 事 法	外国法	講	2				○			
		憲法	講	2				○			
		国際法	講	2				○			
		行政法総論	講	2				○			
		行政救済法	講	2				○			
		刑法総論	講	2				○			
		刑法各論	講	2				○			
		租税法	講	2				○			
		刑事訴訟法	講	2				○			
		民事訴訟法	講	2				○			
		民法総則	講	2				○			
		物権法	講	2				○			
		債権総論	講	2				○			
		債権各論	講	2				○			
家族法	講	2				○					
知的財産法	講	2				○					
企業法	商法	講	2				○				
	会社法	講	2				○				
労働法	講	2				○					

【授業形態】 講・・・講義、演・・・演習、実・・・実験・実習・実技

科目群	区分	科目	授業形態	単位数		開講学年				卒業に必要な単位数			
				必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	各教科区分ごとの最低単位数	卒業要件		
専門科目	キヤリア	基本簿記講	講	2		○				— 2単位修得	専門科目 66 単 位 以 上		
		資格・検定講座Ⅰ	講	2			○						
		資格・検定講座Ⅱ	講	2			○						
		資格・検定講座Ⅲ	講	2				○					
		資格・検定講座Ⅳ	講	2				○					
		資格・検定講座Ⅴ	講	2				○					
		インターンシップⅠ	実	2		○							
		インターンシップⅡ	実	2		○							
		インターンシップⅢ	実	1		○							
		キャリア支援講座Ⅰ	講	2				○					
	キャリア支援講座Ⅱ	講	2				○						
	特殊科目	特殊専門講義Ⅰ	講	[1]		○							
		特殊専門講義Ⅱ	講	[2]		○							
		特殊専門講義Ⅲ	講	[4]		○							
	隣接科目	経済史	講	2				○					
		金融論	講	2				○					
		国際経済論	講	2				○					
		社会政策と社会保障	講	2				○					
		国際金融論	講	2				○					
		雇用と労働	講	2				○					
		情報社会と情報倫理	講	2				○					
		国際経済・ビジネス事情	講	2				○					
		情報システムの理論と実際	講	2				○					
		ガバナンスと監査	講	2				○					
	認定科目	簿記検定		2		日商簿記検定2級以上							
	留学認定科目	比較法学特論Ⅰa		2	協定大学との交換留学 海外大学への私費留学								
		比較法学特論Ⅰb		2									
比較法学特論Ⅱa			2										
比較法学特論Ⅱb			2										
比較法学特論Ⅲa			2										
比較法学特論Ⅲb			2										
比較法学特論Ⅳa			2										
比較法学特論Ⅳb			2										
合計				20	117								

単位数欄が [ ] の特殊科目は、講義題目・担当教員が異なるものであれば、複数個の履修が可能な科目である。

科目群	区分	科目	授業形態	単位数		開講学年				卒業に必要な単位数	
				必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	各教科区分ごとの最低単位数	卒業要件
専門科目群	学生強化指定クラブ所属科目	(ス) スポーツの指導法	講		2	○				— (※1)	専門科目群66単位以上
		(ス) スポーツとトレーニング	講		2	○					
		(ス) スポーツと心理	講		2		○				
		(ス) スポーツと社会	講		2		○				
		(ス) スポーツと栄養	講		2		○				
		(ス) スポーツの医学	講		2		○				
合計				0	12						

(※1) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会免除科目  
2023年度までの開講となる。

科目群	区分	科目	授業形態	単位数		開講学年				卒業に必要な単位数	
				必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	各教科区分ごとの最低単位数	卒業要件
専門科目群	留学生対象科目	(留) アカデミック日本語レベル7	演		2		○			—	専門科目群66単位以上
		(留) アカデミック日本語レベル8	演		2		○				
		(留) 日本語コミュニケーションレベル7	演		2		○				
		(留) 日本語コミュニケーションレベル8	演		2		○				
合計				0	8						

科目群	区分	科目	授業形態	単位数		開講学年				卒業に必要な単位数	
				必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	各教科区分ごとの最低単位数	卒業要件
演習群		演習 I A	演		2	◎				— 16単位修得	演習群16単位
		演習 I B	演		2	◎					
		演習 II A	演		2		◎				
		演習 II B	演		2		◎				
		演習 III A	演		2			◎			
		演習 III B	演		2			◎			
		演習 IV A	演		2				◎		
		演習 IV B	演		2				◎		
合計				16	0						

※教職に関する専門科目群は、卒業単位に参入しない。

科目群	科目	授業形態	単位数		開講学年				備考
			必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
※ 教 職 に 関 す る 専 門 科 目 群	教師論講	講		2	○				
	現代教育の課題講	講		2	○				
	教育の方法と技術講	講		2		○			
	情報通信技術の活用演	演		1		○			
	社会科教育法Ⅰ講	講		2		○			
	社会科教育法Ⅱ講	講		2		○			
	教育原理(中・高・栄養)講	講		2		○			
	教育と社会講	講		2		○			
	教育・青年心理学講	講		2		○			
	道徳の理論と指導法講	講		2		○			
	生徒指導・進路指導(中・高)講	講		2		○			
	社会科・公民科教育法Ⅰ講	講		2			○		
	社会科・公民科教育法Ⅱ講	講		2			○		
	教育課程論(中・高・栄養)講	講		2			○		
	教育相談(中・高・栄養)講	講		2			○		
	特別支援教育論(中・高・栄養)講	講		2			○		
	教職実践演習(中・高)演	演		2				○	
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法講	講		2				○	
	教育実習Ⅰ実	実		1		○	○	○	中一免(社会)取得者は2年次後期から3年次前期 高一免(公民)取得者は3年次後期から4年次前期
	教育実習Ⅱ実	実		2				○	
教育実習Ⅲ実	実		2			○		中学のみ	
介護等体験実習実	実		1			○		中学のみ	
合計			0	41					

## 6. 教育職員免許状取得条件

- (1) 本学部において、定められた単位を修得すれば、教員免許状が取得できる。教育職員免許状の種類は、中学校教諭一種免許状(社会)および高等学校教諭一種免許状(公民)である。教育職員免許状を取得するためには、教育職員になる意志が堅固でなければならない。
- (2) 教育実習校については、学生各自が教育実習校の内諾を得なければならない。
- (3) 中学校教諭一種免許状にあっては、特別支援学校および社会福祉施設等で7日間を下らない範囲で介護等の体験をしなければならない。
- (4) 次の条件にしたがって科目を履修し、その単位を修得しなければならない。
  - ① 卒業に必要な最低修得単位数を修得すること。
  - ② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目として、本学が開設する下記イの科目8単位を修得すること。これらの科目の単位は、1年次または2年次に修得することが望ましい。
  - ③ 以下その他、ロ、ハ、ニの条件にしたがって、その単位を修得すること。

### イ. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目名	単位数		備考
		必修	選択	
日本国憲法	国家と法(日本国憲法)	2		
体 育	生涯スポーツ実習Ⅰ	1		
	生涯スポーツ実習Ⅱ	1		
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2		
	合 計	8	0	